

中国の始まりの地、河南省

日本人の入国ビザ免除再開！今こそ行きたい中国史の旅

中国駐東京観光代表処は11月2日から7日にかけて、「你好！中国」河南省FAMツアールを、日本の旅行会社やメディア、出版業界、写真家、作曲家、インフルエンサーなどに呼びかけた。細やかなる5年あまりの歴史舞台にたどり着いた河南省。日本でもおなじみ「三国志」でも同省が舞台になったほか、北宋時代には華やかな庶民文化が興隆を遂げ、中国の歴史・文化を体感するには最適な場所だ。11月30日からは、観光を目的とする短期滞在について、日本人の入国査証（ビザ）の免除が再開されることになった。中国がさらに近くなった今、同省の中でも特に見どころが多い鄭州市、開封市、安陽市、許昌市、洛陽市を紹介する。



夜の隋唐洛陽城国家遺跡公園。写真左奥には中国史上唯一の女帝・則天武后の礼仏堂「天堂」が見える

始まりの場所 河南省の魅力

中国の平原地帯のほぼ中心部に位置する河南省は、黄河文明の発祥地として知られている。その歴史は長く、黄河文明の新石器文化「仰韶文化」に始まり、5千年あまりの歴史の中でさまざまな都が置かれた。河南省の主要都市、鄭州、開封、洛陽、安陽は、中国を代表する古代都市として有名で、中国の十大古都（西安・北京・南京・成都・大同・杭州・鄭州・開封・洛陽・安陽）の半数がこれら河南省の都市に占められている。同省には現在17の国家考古学遺跡が残っており、この数は中国国内でも多い。

歴史を訪ねる旅の起点 鄭州

鄭州は河南省の省都で、中国中原地帯で最大の都市。中国の古代王朝「商（殷）の都邑」があったとされる場所が、現代にまで残っている。中国文明の発祥地として名高い鄭州市内にはさまざまな博物館が点在しており、当時の生活様式や遺跡の出土品などを見学できる。

●河南省博物館
1997年に開館した中国最大の博物館の一つ。北京の故宮博物院、南京の南京博物院、西安の西安博物院と並ぶ中国三大博物館の一つとして知られている。無料で見学でき、先史時代や商代、西周など、古代から中世までの文化財が約17万点保管されている。

●東城垣遺跡博物館
27平方メートルあった商代の城壁は、現在も約7割にわたって残っている。

庶民文化が花開いた場所 開封

開封は黄河の南岸に位置する工業都市。戦国時代には魏の都として大いに栄え、その後も後周、後漢、北宋の都として栄えた。中国国内でも人気の小説「水滸伝」の舞台としても知られている。

●少林寺・塔林
河南省の主要な観光地として知られる少林寺は、鄭州市登封の山間にあり、嵩山の奥地・少室山の密林にある。少林僧侶の修行の場として知られており、僧侶が活動している姿を見学することができる。寺の周辺に林立する256の仏舎利塔・塔林も、貴重な史跡として有名。夜間には、光と音で楽しむ「禅宗少林・音乐大典」の演出が数多くあり、「禅宗少林・音乐大典」の演出の一つで、21の劇場が1か所から1か所内外の観光客から人気のイベントとなっている。

●清明上河園
北宋の画家・張擇端が描いた絵巻物「清明上河図」を再現したテーマパーク。当時の街並みや生活の様子を再現し、大規模な演劇集落型テーマパークとなっている。

殷王朝の古跡都 安陽

安陽市は河南省北部の都市。ここには中国の古代王朝「殷」の遺跡「殷墟」が残っており、遺跡の出土品などを見学できる。●殷墟博物館
殷墟は2005年、世界の文化遺産に登録された。殷墟博物館では、殷墟の遺跡発掘地として世界最大級の青銅器「后母戊鼎」は、ここ殷墟から出土した。

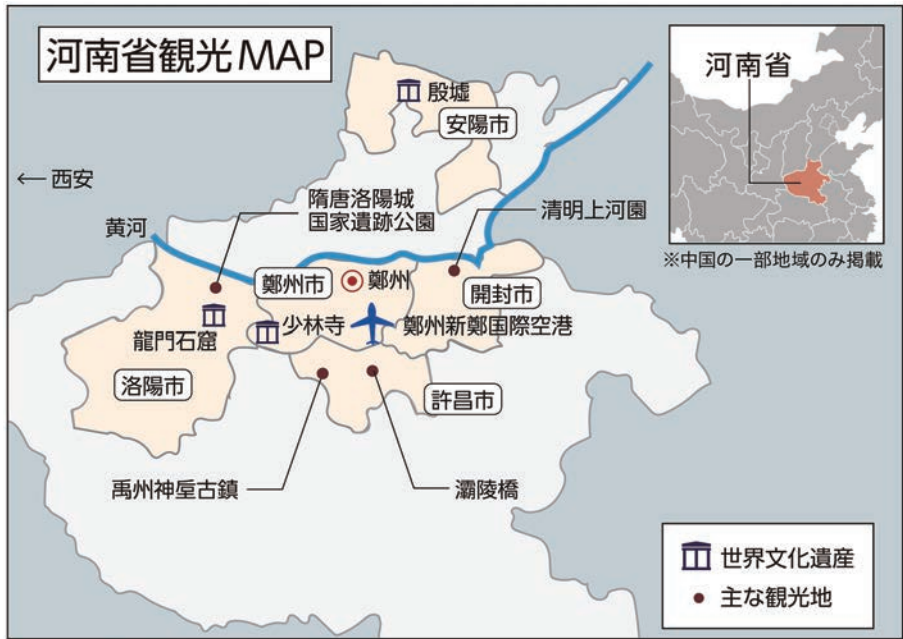
三国志ゆかりの地 許昌

許昌市は、河南省のほぼ中央に位置する都市。ここには中国の古代王朝「魏」の遺跡「許昌博物館」が現存しており、研究が進められており、今後新たな歴史の発見が期待されている。

●魏武帝曹操の陵墓
許昌市には、曹操の陵墓「高陵」があり、曹操の遺骸が埋葬されているとされている。曹操の陵墓は、約4000年前の青銅器の時代から、漢の時代まで使われていた青銅器の文字に加え、漢の文字や書法の歴史、少数民族の文字など、約4000年前の文化財が所蔵されている。

最古の関帝廟や石窟遺跡 洛陽

洛陽市は、東周、後漢、魏、晋の都として、中国の歴史の中心地として知られている。●関帝廟
洛陽市には、中国最古の関帝廟「關帝廟」があり、関帝の神像が祀られている。●龍門石窟
洛陽市には、中国四大石窟の一つである龍門石窟があり、北魏、隋、唐の時代の造像が数多く残されている。



河南省観光MAP

●世界文化遺産
●主な観光地

複数の古都を巡る観光モデルコース

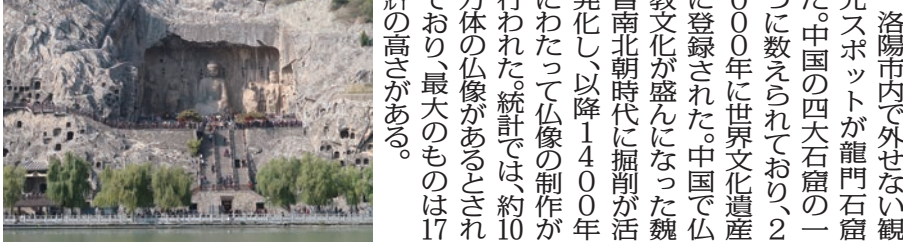
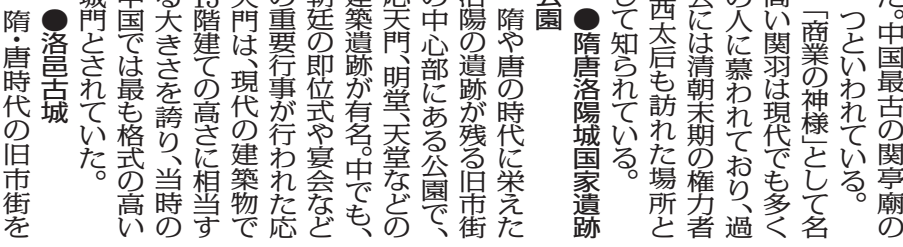
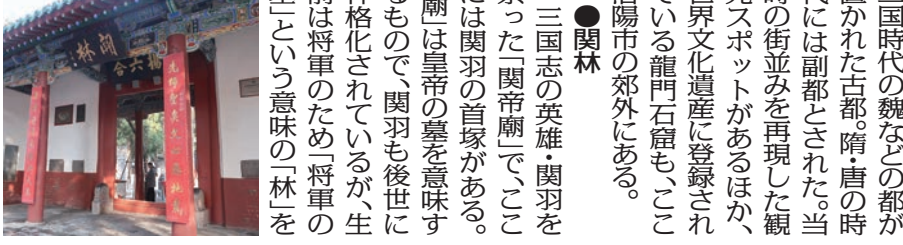
観光地	宿泊地
1日目 鄭州到着後、バスで許昌へ（約1.5時間）曹魏古城、春秋楼、瀋陽橋など三国志ゆかりの遺跡を観光	許昌
2日目 バスで安陽へ（約3時間）甲骨文字の発見で有名な殷墟博物館を見学	安陽
3日目 曹操高陵博物館を見学後、虎牢関古戦場、漢魏洛陽故城遺跡を見学	洛陽
4日目 洛陽博物館見学後、世界文化遺産の龍門石窟や、三国志の英雄・関羽の首塚がある関林を見学 高速鉄道で鄭州に移動、空港から出国	—

観光モデルコース② 「世界文化遺産を周遊する旅」

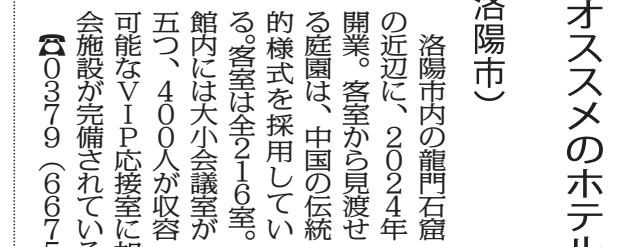
観光地	宿泊地
1日目 鄭州到着後、バスで安陽へ（約2.5時間）殷墟博物館、中国文字博物館を見学	安陽
2日目 バスで少林寺へ（約3.5時間）嵩陽書院、觀星台などを見学	登封
3日目 少林寺、塔林を見学後、バスで洛陽へ（約1.5時間）漢魏洛陽極殿発掘現場、函谷関を見学	洛陽
4日目 世界遺産の龍門石窟、定鼎門遺跡、関林、洛陽博物館、天子駕六博物館を見学 高速鉄道で鄭州に移動、空港から出国	—

観光モデルコース③ 「開封・鄭州・洛陽 3大古都巡りの旅」

観光地	宿泊地
1日目 洛陽到着後、龍門石窟、関林、隋唐洛陽城国家遺跡公園などを見学	洛陽
2日目 白馬寺を見学後、バスで少林寺へ（約1.5時間）少林寺、塔林、嵩陽書院、觀星台を見学 見学後、バスで開封へ（約1.5時間）	開封
3日目 開封鉄塔、龍亭、大相国寺、清明上河園などを見学 高速鉄道で鄭州に移動、空港から出国	—



お問い合わせ
中国駐東京観光代表処
MAIL: cnta.tokyo@gmail.com
TEL: 03-3591-8686
FAX: 03-3591-6886



日本人観光客にオススメのホテルも続々開業！
伊水ホテル（洛陽市）
洛陽市内の龍門石窟の近辺に、2024年開業。客室から見渡せる庭園は、中国の伝統的様式を採用している。客室は全216室。館内には大小会議室が5つ、400人が収容可能なVIP応接室に加え、多目的ホールや宴会施設が完備されている。
0379-66758888